

# 事業概要

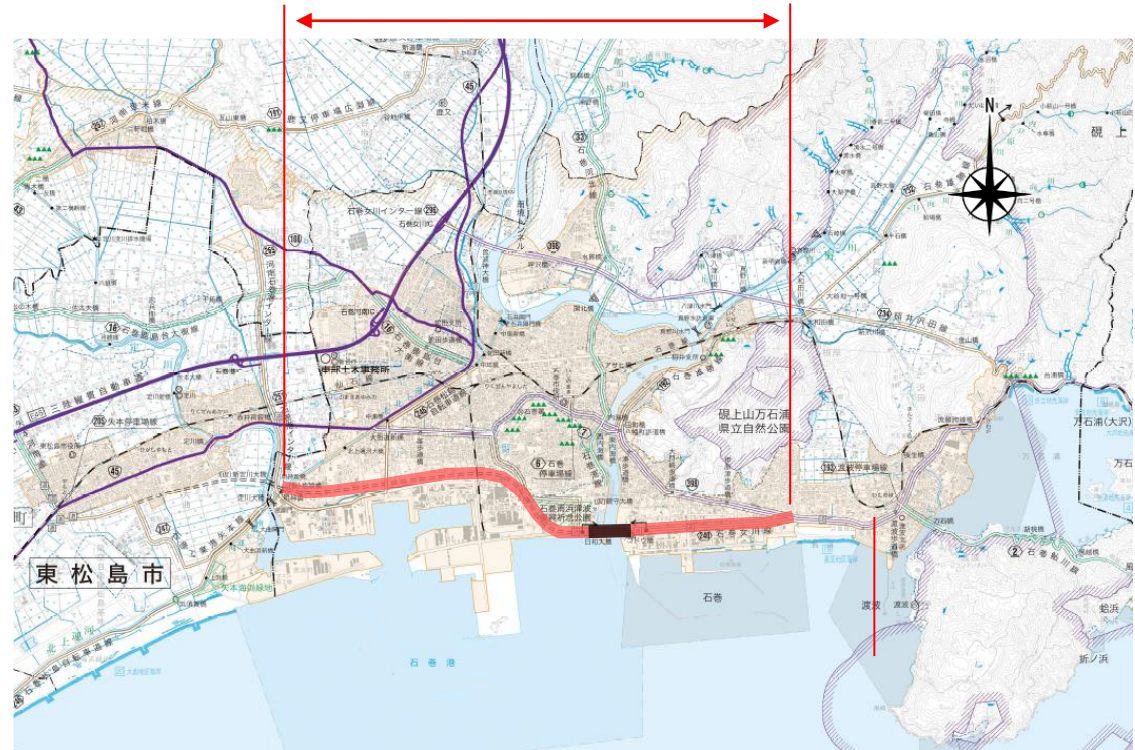
(宮城県：(都)門脇流留線)

応募No.	2		
事業主体	宮城県	事業箇所	宮城県石巻市
応募者名	宮城県 土木部 都市計画課		
ふりがな 事業名称	いしのまきこういきとしけいかくどうろじぎょう かどのわきながるせん 石巻広域都市計画道路事業 (都)門脇流留線		
事業概要 (400字以内)	<p>本路線は、石巻市の市街地を東西に横断する延長約7.9kmの高盛土道路である。石巻市震災復興基本計画等に、「津波を減衰させる多重防御施設」や「津波避難路」として位置付けられており、津波発生時における内陸部への浸水被害の軽減や、災害発生時における避難路としての活用など、地域の防災安全性の向上に大きく寄与するものである。</p> <p>また、国道398号に集中していた一般交通も本路線に転換・分散されることで、石巻市街地部の渋滞緩和にも寄与する道路として、令和4年3月に供用したところである。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約7.9km	
	幅員(m)	13.5~50m	
	事業期間(和暦)	平成24年度~令和4年度	
	事業費(億円)	約330億円	
受賞歴	有・無	※他のコンクール等での受賞歴の有無を記載してください。 ※有の場合、後述の【受賞歴・報道資料】に詳細を記載してください。	
URL	<a href="https://www.pref.miyagi.jp/release/220225kadonowaki.html">https://www.pref.miyagi.jp/release/220225kadonowaki.html</a>		

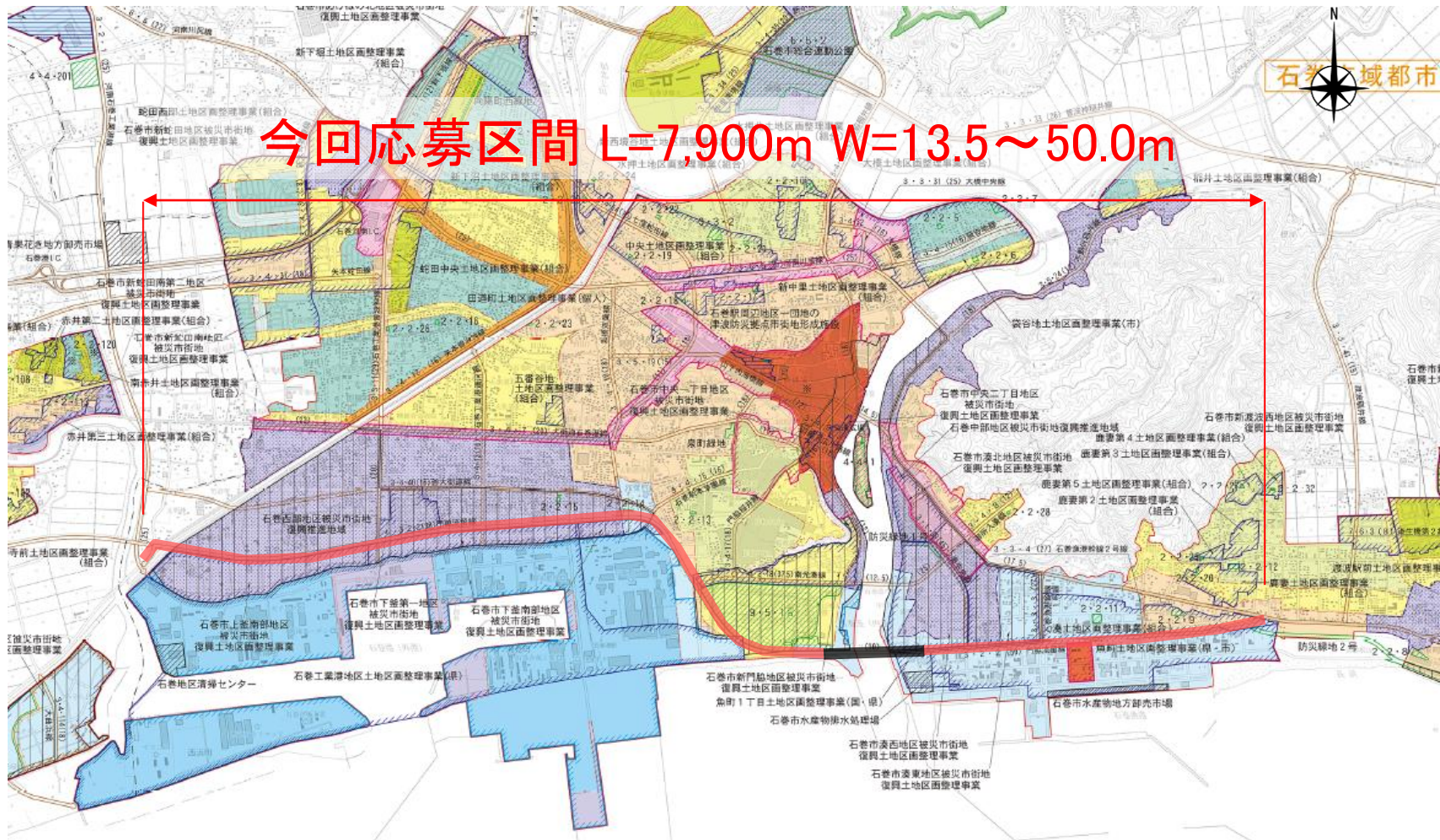
# 事業位置図



(都)門脇流留線  
今回応募区間



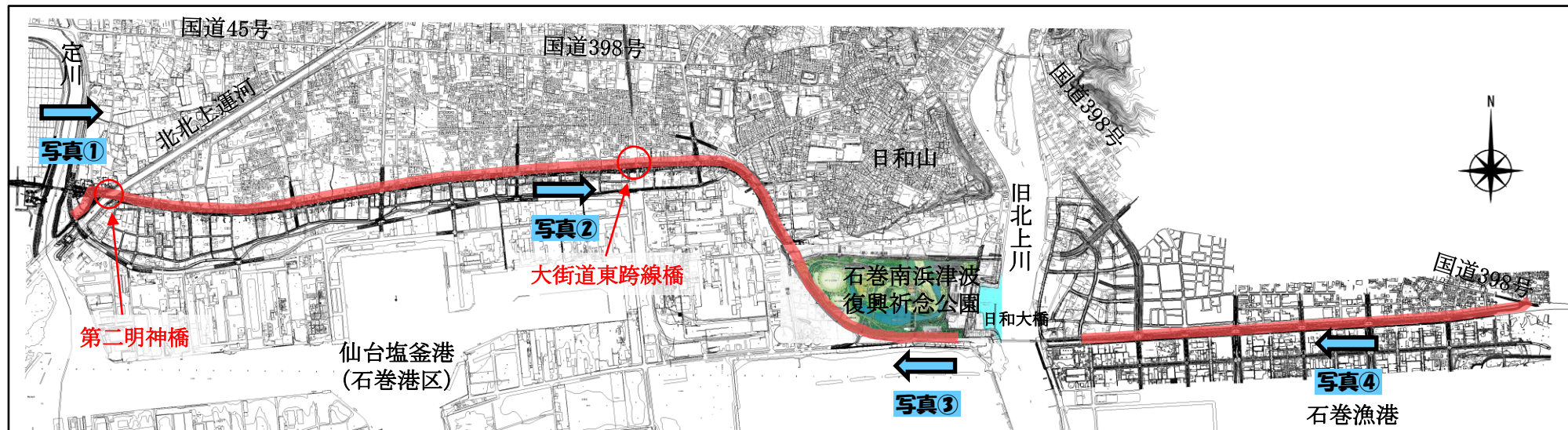
# 都市計画図(用途地域図)



# 路線全体の進捗状況

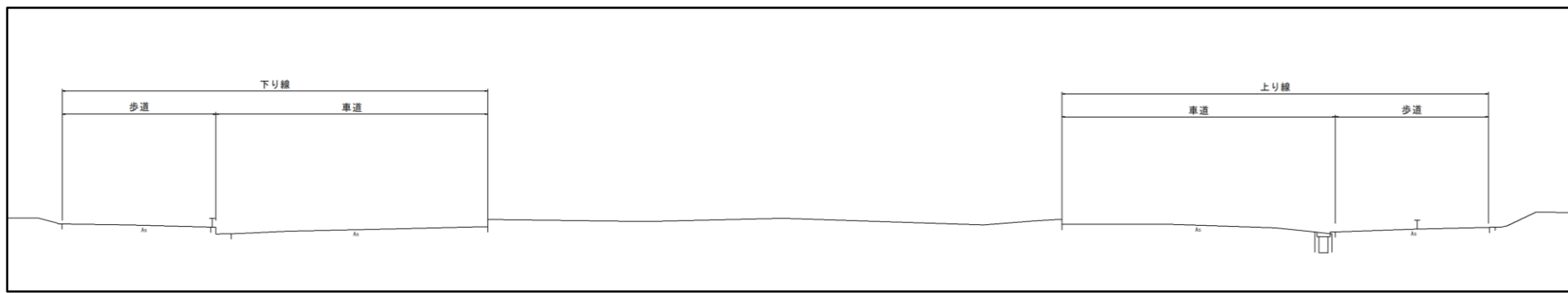


平面図

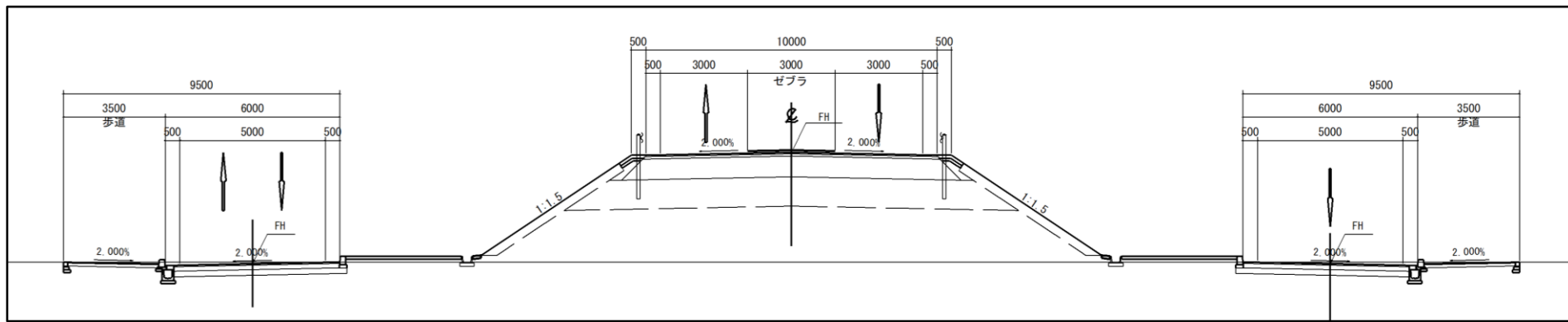


# 断面図

## 施工前



## 完成後



# 施工前写真

# 完成後写真

(宮城県：(都)門脇流留線)

写真①

写真①

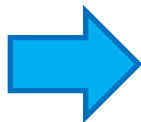
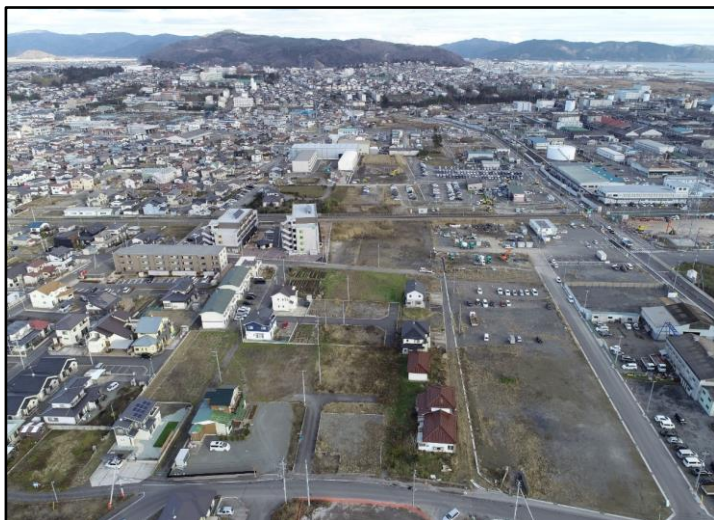


令和元年11月撮影

令和4年3月撮影

写真②

写真②



平成30年12月撮影

令和4年3月撮影

施工前写真

写真③



令和2年5月撮影

写真④



平成26年4月撮影

完成後写真

写真③

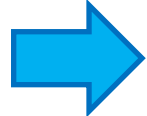


令和4年3月撮影

写真④



令和4年2月撮影





# 事業効果アピール資料

## ○高盛土道路の整備による周辺地域へのアクセス向上、及び災害時における地域の防災安全性の向上

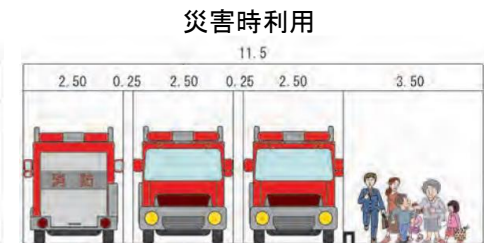
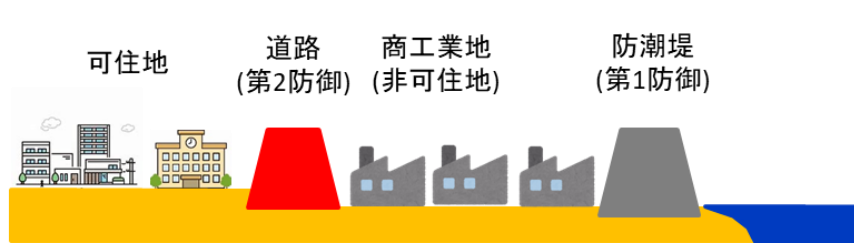


出典：石巻市復興整備計画

- ・ 門脇流留線は石巻市復興整備計画にも位置付けられており、本路線の整備により周辺地域へのアクセスが向上し、水産振興や観光振興への寄与が期待されます。
- ・ 堤防と道路の多重防御で減災効果が発現され、災害発生時の避難路としての機能も有しています。

### 多重防御イメージ

### 避難路の幅員構成



# 事業効果アピール資料

## ○本線供用開始による交通渋滞の緩和

整備前は国道398号に交通が集中しており、慢性的な渋滞が発生していました。本路線の供用開始により、中心市街地に集中していた交通が分散され、その結果、整備前（H24）の調査結果に対し整備後（R4）の効果検証で、**中心市街地での東西方向のモニタリング速度が向上し、交通渋滞が緩和されました。**



主要渋滞箇所  
(モニタリング箇所)



出典：令和4年度宮城県渋滞対策連絡協議会資料

(単位: km/h)

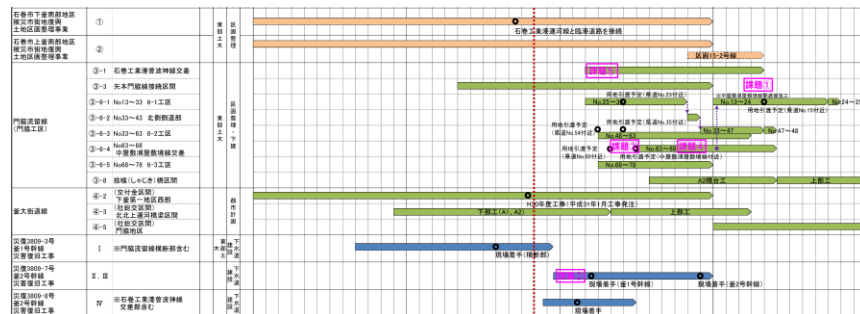
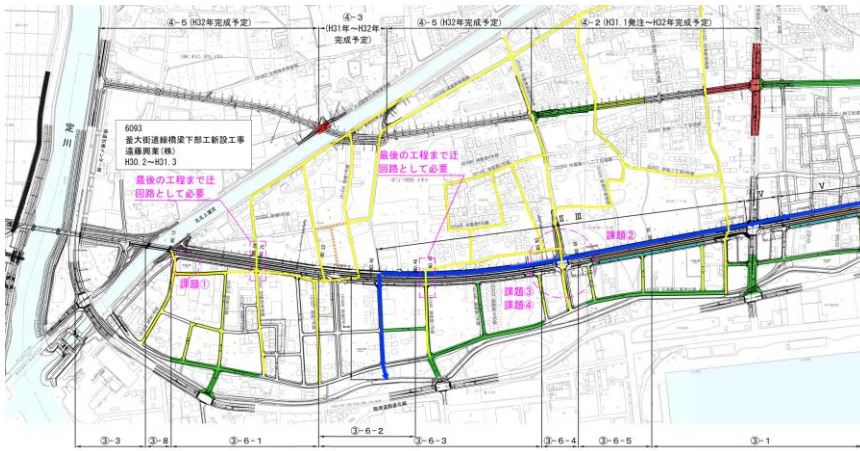
主要渋滞箇所		路線名	モニタリング速度		事業完了による効果検証		
			モニタリング対象	H24	R4	速度向上 (H24より速度向上)	R4-H24 検証結果
109	駅前	北西 一般国道398号	平日	12.0	16.3	+4.3	
		南東 一般国道398号	平日	11.4	18.4	+7.0	
		北 (主)石巻停車場線	平日	9.9	8.6	-1.3	
		南 市道	平日	0.0	17.7	+17.7	

# 苦労や工夫等アピール資料

## ○周辺の復興事業との工事調整

本路線の周辺地域は、石巻市の区画整理事業や上下水道事業など、多数の復興工事が展開していたため、各工事の輻輳が懸念されました。

国・市と協同で「市街地復興工事調整会議」を設置し、関係者間でそれぞれの工事の状況を確認し、施工調整に係る課題解決の円滑化を図りました。



- ・復興調整会議は令和3年度までに90回以上開催
- ・エリアごとに地区工事協議会を開催し、各工事の受発注者間で詳細な施工調整を行った。

# 苦労や工夫等アピール資料

## ○市民の安心・安全確保のための情報発信等

施工にあたっては既存の道路の通行止めを伴う箇所が多数存在しました。そのため、HPでの通行止め箇所の公開、町内会への毎月のチラシ配布などを行いました。

また、市役所や病院、ショッピングモールなどにおいて復興パネル展を開催し、門脇流留線を含む復興事業の内容や進捗状況を提供することで、市民に工事が進む様子を実感していただきました。



市HPに常に最新の道路情報を掲載することで、市民が工事に伴う通行止め・迂回ルートに関する情報を入手しやすい環境を整備した



掲載したパネル



パネル展の様子

## 受賞歴・報道資料

### ○受賞：令和4年度全建賞

本路線における災害発生を想定した構造採用や、事業推進にあたってCM業務活用による体制確保や情報発信などといった各種取組が評価され、令和4年度全建賞（東日本大震災に係る復旧・復興特別枠〔都市部門〕）を受賞しました。



○新聞掲載：令和4年3月25日（金）河北新報「門脇流留線 全線が開通」  
朝日新聞「高盛り土道路 全区間開通」